



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社robot home 上場取引所 東  
 コード番号 1435 URL https://corp.robothome.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 古木 大咲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 安井 慎二 (TEL) 03-6447-0651  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,758	27.1	599	155.1	594	160.0	563	60.4
2023年12月期第1四半期	2,171	83.8	235	60.1	228	29.4	351	103.3

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 563百万円(40.6%) 2023年12月期第1四半期 400百万円(224.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	6.27	—
2023年12月期第1四半期	3.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	12,501	9,067	72.5
2023年12月期	12,019	8,954	71.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 9,064百万円 2023年12月期 8,591百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	1.00	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,000	50.7	800	6.8	750	1.7	700	△21.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	91,127,000株	2023年12月期	91,127,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	1,242,800株	2023年12月期	1,242,800株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	89,884,200株	2023年12月期 1 Q	89,884,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費・設備投資の改善や、雇用情勢・所得環境の改善等により、緩やかな景気回復基調が見られる一方で、世界的金融引き締めに伴う影響や、日本銀行の金融緩和政策の変更、資材・エネルギー価格の高騰等、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは、AI・IoT等の先端技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進、及びそれら技術を活用した、賃貸経営プラットフォーム「robot home」を継続的にアップデート。不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給から、賃貸管理の受託、売却・再投資を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルを生み出し、安定的にストック収入を拡大してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高27億58百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益5億99百万円（前年同期比155.1%増）、経常利益5億94百万円（前年同期比160.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億63百万円（前年同期比60.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（報告セグメント名称の変更）」に記載のとおりであります。

#### ①AI・IoT事業

AI・IoT事業におきましては、賃貸経営プラットフォーム「robot home」の継続的な開発・運用、及びサービスを提供。入居者、オーナー、メンテナンス会社、賃貸仲介会社、賃貸管理会社の全てのプレーヤーをプラットフォーム上で繋ぎ、賃貸経営の自動化を目指してまいります。さらに、これまで蓄積された「リアル×テクノロジー」の知見をDX領域へと展開。不動産業界のみならず、他業界に対する「DX総合支援サービス」を提供しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1億28百万円（前年同期比43.7%増）、営業利益は54百万円（前年同期比73.0%増）となりました。

#### ②robot home事業

robot home事業におきましては、AI・IoT事業で構築した賃貸経営プラットフォーム「robot home」を活用し、不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給（フロー領域）から、賃貸管理の受託（ストック領域）、売却・再投資（フロー領域）を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルの構築に努めてまいりました。

ストック領域におきましては、AI・IoTなどのコアテクノロジーを活用した賃貸管理RPAシステム「robot home for PM」の導入により、業務効率化されたPM業務を実施し、安定したストック収入を拡大してまいりました。また、メンテナンス領域への事業領域拡大、及び自社保証のシェア拡大等による持続的な収益基盤の拡大に注力いたしました。

フロー領域におきましては、購入サポートのみならず、資産形成サポート、売却サポートの更なる充実により、アプリ内での取引を活性化。プラットフォーム内の流通を促進することで、今後の収益基盤の更なる安定化に向けた取り組みに注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は26億37百万円（前年同期比26.6%増）、営業利益は9億67百万円（前年同期比101.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億82百万円増加し、125億1百万円となりました。これは主に、有形固定資産が3億28百万円、現金及び預金が3億21百万円増加した一方で、販売用不動産が2億6百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて8百万円増加し、34億33百万円となりました。これは主に、流動負債その他が2億50百万円、短期借入金が1億72百万円、賞与引当金が68百万円増加した一方で、買掛金が4億55百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億73百万円増加し、90億67百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5億63百万円を計上した一方で、剰余金の配当89百万円を実施したため、利益剰余金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,718,875	5,040,702
売掛金	449,700	509,577
商品及び製品	20,670	18,315
販売用不動産	3,574,848	3,368,299
仕掛販売用不動産	146,158	99,114
貯蔵品	3,258	3,298
その他	240,760	248,865
貸倒引当金	△121,874	△125,658
流動資産合計	9,032,399	9,162,513
固定資産		
有形固定資産	1,031,187	1,359,692
無形固定資産		
のれん	181,090	177,856
顧客関連資産	69,873	68,529
その他	134,891	138,299
無形固定資産合計	385,854	384,685
投資その他の資産		
投資有価証券	1,071,928	1,060,693
繰延税金資産	232,038	240,245
その他	265,968	293,782
投資その他の資産合計	1,569,935	1,594,721
固定資産合計	2,986,977	3,339,099
資産合計	12,019,376	12,501,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	624,352	168,402
短期借入金	427,500	600,100
1年内返済予定の長期借入金	48,452	48,641
未払法人税等	28,898	9,340
預り金	1,160,212	1,181,399
賞与引当金	—	68,199
債務保証損失引当金	384,235	372,587
資産除去債務	34,337	30,800
その他	431,319	682,267
流動負債合計	3,139,307	3,161,738
固定負債		
長期借入金	218,730	205,803
資産除去債務	44,134	44,151
繰延税金負債	2,818	2,360
その他	20,212	19,578
固定負債合計	285,894	271,892
負債合計	3,425,202	3,433,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,460,469	7,460,469
利益剰余金	1,395,244	1,869,183
自己株式	△299,986	△299,986
株主資本合計	8,565,728	9,039,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,107	21,759
為替換算調整勘定	560	3,209
その他の包括利益累計額合計	25,667	24,968
非支配株主持分	2,778	3,346
純資産合計	8,594,173	9,067,982
負債純資産合計	12,019,376	12,501,613

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	2,171,075	2,758,948
売上原価	1,300,443	1,292,158
売上総利益	870,631	1,466,790
販売費及び一般管理費	635,556	867,067
営業利益	235,074	599,722
営業外収益		
受取利息	144	183
受取配当金	101	261
物品売却益	5,409	—
その他	2,216	21
営業外収益合計	7,872	467
営業外費用		
支払利息	2,159	3,396
支払保証料	1,033	—
支払手数料	7,000	—
投資事業組合運用損	2,203	2,030
その他	2,086	671
営業外費用合計	14,483	6,098
経常利益	228,464	594,090
特別利益		
固定資産売却益	71	—
投資有価証券売却益	145,376	—
新株予約権戻入益	15,773	—
資産除去債務戻入益	—	4,027
特別利益合計	161,221	4,027
特別損失		
固定資産除却損	—	18
投資有価証券評価損	29,999	26,710
特別損失合計	29,999	26,728
税金等調整前四半期純利益	359,685	571,389
法人税等	8,468	6,997
四半期純利益	351,216	564,391
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△377	568
親会社株主に帰属する四半期純利益	351,594	563,823



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
四半期純利益	351,216	564,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,305	△3,348
為替換算調整勘定	398	2,649
その他の包括利益合計	49,703	△698
四半期包括利益	400,920	563,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,297	563,124
非支配株主に係る四半期包括利益	△377	568

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第1四半期連結会計期間において、賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。当該変更による減少額4百万円を変更前の資産除去債務残高から減額しております。

この見積りの変更により、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が4百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	34,208	1,328,274	1,362,482	—	1,362,482	—	1,362,482
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	53,880	604,260	658,140	—	658,140	—	658,140
顧客との契約から生 じる収益	88,088	1,932,534	2,020,623	—	2,020,623	—	2,020,623
その他の収益	—	150,451	150,451	—	150,451	—	150,451
外部顧客への 売上高	88,088	2,082,986	2,171,075	—	2,171,075	—	2,171,075
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,200	—	1,200	—	1,200	△1,200	—
計	89,289	2,082,986	2,172,276	—	2,172,276	△1,200	2,171,075
セグメント利益 又は損失 (△)	31,737	481,610	513,348	△921	512,426	△277,351	235,074

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	50,868	1,899,056	1,949,924	—	1,949,924	—	1,949,924
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	70,786	568,552	639,339	—	639,339	—	639,339
顧客との契約から生 じる収益	121,655	2,467,608	2,589,264	—	2,589,264	—	2,589,264
その他の収益	—	169,684	169,684	—	169,684	—	169,684
外部顧客への 売上高	121,655	2,637,293	2,758,948	—	2,758,948	—	2,758,948
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,620	10	6,630	—	6,630	△6,630	—
計	128,276	2,637,303	2,765,579	—	2,765,579	△6,630	2,758,948
セグメント利益 又は損失(△)	54,900	967,999	1,022,900	△121	1,022,778	△423,056	599,722

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「Robot Home事業」としていた報告セグメントの名称を「robot home事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。